

教員コラム

『睡蓮とメダカ』

特任准教授 吉田 景一

数年前の初夏、赤・白の睡蓮のポット苗を購入、45ℓのプランターに赤玉土を敷いて水を張りポット苗2鉢を入れ、ボウフラ対策に黒メダカ10匹を投入したのが始まりとなった。買った睡蓮はそのままで花が咲くことは稀の様で案の定、葉が茂るだけで蕾を付けなかった。



二年目の春、成長した根茎を株分けし複数の鉢に植え替え日当たりの良い場所に移動すると全ての鉢に蕾を付け見事に開花した。メダカもその後、白、赤（楊貴妃）、幹之等々、品種を増やしていき多い時は水槽が優に20を越えた。睡蓮の美しさに魅せられ、花色と香りが良い熱帯睡蓮にも手を出し栽培するようになっていった。

今では80ℓを2つ、45ℓを5つ、合計7つの水槽をビオトープ化し、五〇七月に咲く温帯睡蓮、七〇十月に咲く熱帯睡蓮、その中で泳ぐメダカたちに癒されている。



授業紹介「子どもと絵本」

教授 堀田 浩之

「子どもと絵本」は、認定絵本士の資格取得に向けた専門的な内容のカリキュラムで構成されている講義や演習の科目です。

認定絵本士とは、絵本の専門家として人気の高い絵本専門士資格を将来目指すべく、大学、短大、専門学校で学ぶ学生向けに創設された資格で、カリキュラムも講師陣のメンバーも厳しい規定があり、全国では本学を含め未だ64の機関しか開講していません。

例えば講師陣としては、絵本専門士として活躍中の方、児童書担当の書店員さん、絵本作家さん、編集者など、専門的知識・技能を持った方々が担当していて、高度な授業内容となっています。

また、本学では昨年度からは社会人の方も科目等履修生として受け入れています。その熱心に授業に取り組む姿勢は、学生たちに良い刺激を与えてくれています。

